

ご意見・アイデアの募集結果について <セーフシティ関連>

番号	ご意見・アイデア
1	<p>①「首都直下・・・進めます。同時に、消防団、町会・自治会などを活性化し、地域で助け合う取組を強固なものにします。」とありますが、平日の昼間では住民も地域にいるとは限らないため、行政との連携が不可欠であると考えます。夜間休日は、消防団、町会・自治会が対応の主力となる必要があるので、 案)・・・消防団、町会・自治会などを活性化し、行政と連携して地域で助け合う取組を強固</p> <p>②「自助・共助・公助の連携による防災力の向上」の防災力には被害を減らすという意味も含まれますが、強調する意味で減災としたほうが良いと考えます。 案) 自助・共助・公助の連携による減災力の向上</p> <p>③「消防団や・・・自主防災組織による地域の防災力の向上を図ります。」 案) 消防団や・・・自主防災組織と行政のタッグにより地域の防災力の向上を図ります。</p>
2	<p>【道路拡幅予定地買収が長期化することの弊害について】 木造密集地域の不燃化に関して、買い取りの交渉等に当たるマンパワー（公務員）と資金（税金）を本来費やすべきところに費やせないばかりか、立退き予定地の店舗等が老朽化したままテナントだけが居抜きで入れ替わり、魅力に乏しい店舗ばかりが増えて街全体の魅力も低下しています。 法制度のさらなる改正も含めた実効性のある方策を検討して下さい。</p>
3	<p>【分野横断的な政策の展開を多摩の振興】 日本ではボランティア＝無償奉仕となっており、人が積極的に集まる仕組みになっていません。そこに都の予算を投入し促すことで、有償ボランティアの文化を根付かせる試みを進めてみてはいかがでしょうか。 無償ボランティアや官製ワーキングプアは、活躍に値する活動をしていても報酬が無い/少ないというものになっており、正当な対価を得られれば、有償ボランティア活動も増えていくのではないのでしょうか。有償ボランティアに切り替える/期待するものを明確にするとともに、その対価についても明確にした上で、住んでいる方々による有償ボランティアで広げる試みを期待いたします。 持続可能な目指すまちに繋がるソフト面により多くの予算を配分いただけることを願ってやみません。</p>
4	<p>精神科を中心とする病院に勤めていて感じたことは、 ①仕事・家庭上の問題から起こる精神疾患予防の必要性 ②知的・精神的障害患者さんの雇用の必要性 ③知的・精神的障害と身体的障害の両方を持つ患者さんの雇用対策。 以上3点の対策として特に重要視したい。 ①長時間労働予防対策、育児・介護支援といった仕事と家庭の両立 ②企業の身体的・知的・精神的障害を持った人の雇用支援 ③身体的・知的・精神的な障害を持った方が可能な障害者スポーツの支援・周知 身体的・知的・精神的・家庭的障害を持ちながらも各個人が可能な範囲で仕事を分担してやって非常勤職員ではなく常勤職員として経済的にも自立していくことが出来る東京都を目指していくことが東京都の活力を生み、他の道府県のお手本となると思います。身体的・知的・精神的・家庭的障害を持った方の雇用確保は仕事の無駄を無くして仕事の効率化を生むと思います。</p>
5	<p>【豪雨・土砂災害対策】 リアルタイムでの情報発信、官民が連携した大規模地下街の浸水対策など、都市型水害への対策を進めます。 【都市インフラの長寿命化・更新】 橋や道路などを適切に補修・補強することで、インフラの安全性と健全度を保ち、寿命を延ばします。有事の際に一般人が避難する先は主に公務員の事業所です。壊れた道路は一度通れば二度通りませんが、避難先は多少壊れていても数日滞在する可能性があります。学校関係も順次、大規模改修が進んでいる所ですが、「建物」というインフラにも目を向けていく必要があると思います。</p>
6	<p>東京は有史以来、度々大震災に遭遇しています。2011年の東日本大震災、今年の熊本県の震災でも情報弱者となった外国人に対しての不十分な対応は、世界のニュースで数多く報道されています。それら地域と比べて圧倒的に外国人の滞在者が多い東京都で、災害と医療を連携とした問題解決の意義は大きいです。</p>
7	<p>駅前や歩道に自転車が駐輪されているケースが多いです。都内の歩道は狭いため歩行者の障害になっており、災害時においても、通行の妨げになったり怪我の原因になりかねないです。駅前の細い道においては、車と駐輪自転車により歩行者が困っているケースも見かけます。また景観の観点からも問題があると思います。駐輪所の確保や撤去の徹底や罰則強化などを行い違法駐輪をなくしたいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
8	<p>①電柱の地中化・無電柱化推進            ②公共インフラの保守管理に、ITタグ・IOTを活用            ③AI等活用したサイバー攻撃対応取組            ④遊休不動産・空き家の有効活用⇒幼保施設と高齢者施設の一体運営            ⑤災害対応、都民のコミュニケーション活性化、安心安全確保等目的に、公共施設（施設内・施設壁面等々）を活用した、デジタル看板・デジタル回覧板の導入（導入費用は、一定の基準を設けた上で民間事業者の広告掲載を一部許容し調達）</p>
9	<p>集中豪雨や台風での大雨災害時の避難体制について都が積極的に関わってほしいです。特に、荒川が決壊した際に大規模な被害が予想される墨田区を中心とした23区東部は広域避難が必要になってきます。広域避難では避難先の確保や避難先への交通機関の確保が重要な課題です。都が今後の「セーフシティ」の政策の一環で関わっていくことを期待しています。</p> <p>また、都市インフラの更新の中で首都高の更新がありました「スマートシティ」の豊かな自然環境の創出・保全と関連させ、現在川を潰して建っている首都高を地下に移設し、水の流れを回復し「水の街 東京」を目指してほしいと思います。</p>
10	<p>電柱の電線が延焼の原因にもなっているため、木造住宅密集地域こそ無電柱化を進めるべきです。特に山手通りなど無電柱化を行った幹線道路のすぐ裏の木造住宅密集地域であれば、幹線道路から数十メートルは地下埋設を行っているため、そのままの埋設を続ければ良いと考えるので、先行して無電柱化を進められると思います。</p> <p>①特定緊急輸送道路沿道の建築物や住宅などの耐震化、木造住宅密集地域の不燃化を進めます。            ②電柱のないまちを目指し、都道や区市町村道の無電柱化を進めます。</p>
11	<p>平成28年3月に「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業計画）」において優先整備路線に選定された南多摩尾根幹線道路は、将来「交通・物流ネットワークの形成」を通じて「スマートシティ」の構築に資するとともに、災害時の緊急輸送道路として「セーフシティ」の構築にも貢献することが期待されています。</p> <p>今後は、単なる幹線道路の整備だけでなく、地域の観光資源でもある「よこやまの道」や「からきだの道」との連携した健康増進のための回遊型遊歩道としても整備するなどの工夫をすることが可能です。また、多摩清掃工場の排熱を利用して、サイクリングやマラソンピクニックの盛んな地域でもあることから「ロッカールームとシャワー室を兼ね備えた新施設の整備」で唐木田駅にも近い事もあり、多くの利用者が活用すると考えられます。</p> <p>このような工夫により、隣接住宅地区の環境を保全するだけでなく、地域の「高齢者が安心して暮らせる社会」、「誰でも優しさを感じられるまち」、「誰もがスポーツに楽しめる社会」の実現を通じて「ダイバーシティ」の構築も図れるなど、今後の整備の仕方によっては3つのシティの同時実現が可能です。この地域は畑・果樹園・貸農園や大学の農園があることから「尾根幹線道の駅」を新設することにより、集客力と雇用の拡充が期待されます。</p>
12	<p>【都市交通網】            科学技術の進歩・自動化も合わせ、スマート化していくものと思います。その設計には当然、セーフシティ(安全な交通)、ダイバーシティ(子どもや高齢者、障がい者にも優しい)の要素が包含されて然るべきです。都の部局、都市整備の部局と交通(公共交通)の部局、道路・建設の部局は統合し、横串総合的に設計するのが良いと考えます。</p> <p>【パーク&amp;ライドの整備】            ショッピングモールとの複合施設とすることで、民間資本(ショッピングモール運営者)による整備も可能となります。パーク&amp;ライド整備により、公共交通利用が増えれば、その分、自動車の都心流入を減らすことができます。</p> <p>【セーフティネット】            ダイバーシティの対象には、経済的弱者も含まれるべきです。中間的就労、衣食住を保障・提供する代わりに公共事業の担い手となってもらうような施設を、空き家等の再利用等々で、実現していけば良いと考えます。あるいはICT技術でテレワーク化できる各種作業、公共事業や公共事業化しても良いものに、様々従事してもらうセーフティネット・再チャレンジ事業を行うと良いと思います。</p> <p>【多摩地域と島しょ地域】            多摩地域については、立川・八王子・多摩センターのトライアングルを中心とした、職住近接、圏内に住み働く、「多摩経圏」を規定し、特に多摩センター・多摩ニュータウンに、IT企業等の開発拠点について、副都心域や都心域からの移転を促すのが良案と考えます。島しょ地域(と、奥多摩・檜原地域)については、観光振興と、移住促進は他の地域同様、ふるさと回帰支援センターでセミナーなり、ブース開設なり。交通の便の改善は、東京から高速バス、館山港から伊豆諸島各方面へ向かうルートを開発し、低コストで伊豆諸島に行けるようにすると良いと思います。</p>
13	<p>「高齢者向け自動運転自動車の拡充」  <b>【概要】</b>            ①自動運転自動車を都で200台程度確保する。            ②自動車免許返還者(主に高齢者)に「自動運転自動車無料使用パス」を発行する。            ③パス所持者は一回数10分(自宅～最寄り駅)程度を自処に自動運転車を利用できる様にする。            ④導入としてみずは都議会公用車の自動化を進める。  <b>【目的】</b>            高齢者の免許返納を促し、高齢者の事故削減を目指す。</p>

番号	ご意見・アイデア
14	<p>主要政策に対し、「自転車タクシー」を活用しても目標達成を提言させていただきます。</p> <p>前知事時代に4区（千代田区、港区、中央区、江東区）で実証実験としてスタートした「コミュニティー・サイクル」ですが、公共事業としてスタートしているものの利用者は限定的であり、その収益面では非常に疑問があります。この点に関しましては「コミュニティー・バス」も同様な事が言えるかと思えます。自転車タクシーの文化のない日本では、“短距離の移動ツール”として経済的にも文化的にも新たなビジネスモデルの創出という点で、多くの可能性が見込まれると実感しております。</p> <p>主要政策の中でも、特に下記の2点に注目しております。</p> <p>①まちの安全・安心の確保 ②まちの元気創出</p>
15	<p>多摩地域の可能性が重要なファクターとなるが、駅や住宅の再生はもちろんのこと以下の対策も必要です。</p> <p>【都心への移動・通勤に負荷がない】 首都高速から東名や中央道を使った多摩地区への高速料金の割引、渋滞解消のための各種施策、深夜高速バスの増発（山梨・長野方面で多摩地区を経由するバスでも可）、地元タクシーの深夜運賃見直しによるタクシー増発</p> <p>【住宅支援】 上京者や移民への住宅支援</p> <p>【多摩地区の魅力創出】 地元グルメの開発、観光の発展、日本酒など強みの強化、横田地区のアメリカンな地域開発</p>
16	<p>小金井市では、今進められている「都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」の「小金井3・4・1号線」「小金井3・4・11号線外」の計画によって、古くからの住民は追い出され、小金井及び東京の貴重な財産といえる「国分寺崖線」と「野川の自然」が破壊されようとしています。地元をよく知る古い住民と、新しい若い力の協力によってこそ、自助・共助が実効性のある力強いものになるのではないのでしょうか。</p> <p>また、50年以上も前に住民不在で作られた計画に固執して中途半端な新しい道路を作るお金と時間は、急務である「無電柱化、既存の橋や道路の整備、老朽化した上下水道の整備」にまわしてほしいものです。</p> <p>文化都市で大切なのは豊かな自然との共存です。自然は人とまちを守ります。豊かな自然は一朝一夕でできるものでなく、一度破壊すれば取り返しがつきません。</p> <p>&lt;結論&gt; 上記のことを考えて、小金井の2路線の都市計画道路の計画の廃止をお願いします。</p>
17	<p>「実行プラン」はかなり良く出来ていると思いますが、コンセプトの違いからでしょうか大切な視点が抜けていると思います。</p> <p>都心部は高密度・高効率の交通網から交通安全重視、郊外は休養と癒しの為の自然環境やコミュニティを大切にしたい「心のセーフ（平穏・安堵）」を重視した環境づくりを目指すべきだと思います。本実行プランの全体にわたって最も欠けていることのひとつは“心（精神）のセーフ（平穏・安堵）”を得る街づくり視点ではないのでしょうか？</p>
18	<p>【「土砂災害特別警戒区域」内、建物基礎補強、防護壁設置工事補助制度の創設】</p> <p>西多摩地区では、平成18～27年度までに「土砂災害警戒区域」約4800箇所「土砂災害特別警戒区域」約2800箇所を指定しました。しかし、奥多摩町、檜原村の「土砂災害特別警戒区域」約1760箇所が未指定になっています。未指定の町村には、指定保留の解除を求め説得していますが、「指定の重要性は理解するが、指定されると人口が流出し、過疎化に拍車がかかる」との理由で了承されていません。</p> <p>しかし、過疎化対策として、全体の50%程度に引き上げ、東京都は残りの補助27.0%（都の補助上限額は100万円）をすれば、かなりの負担軽減化が図れると思います。</p>
19	<p>災害から都民の命や財産を守る「災害に強いまちづくり」のため、災害時の地域の自立性向上やエネルギーセキュリティ（エネルギー供給確保）の向上の観点が必要と考え、非常時のエネルギー供給確保も可能となる以下の取組みにより、防災性に優れた「セーフシティ」が実現すると思えます。ぜひ、エネルギーセキュリティの向上の視点を主要政策に反映していただけますようお願い致します。</p> <p>①コージェネレーションシステム等自立分散型電源の導入・普及促進 ②熱や電気を、建物間や街区間等面的に融通・最適制御するエネルギーネットワークの構築・整備</p> <p>上記取組みにより、平時のエネルギー効率向上を可能とする環境性に優れた街づくり（スマートシティ）も同時に実現できると考えます。</p> <p>無電柱化の推進については、その意義に賛同し今後も協力してまいります。他方、無電柱化の低コスト手法の1つとして考えられている電線類の浅層埋設を推進するにあたり、既設のガス導管の適切な保安確保の観点から、ガス事業者の意見も聞いていただきますようお願い致します。</p>
20	<p>浸水対策は、豪雨の際はそこに雨が流れ込めるように低地に湿地のある公園を整備し、生物の生息環境の復元と防災機能を兼ね備えた公園の整備を提案します。</p> <p>また、河川においては、その主な機能が治水と捉えられているために、本来、日々の安らぎを生む憩いの場であるはずが、人々が親しみやすいとは言えない状態の所が多くあります。例えば、潮の満ち引きの影響を受ける河口付近では、植生があっても水の流れへの影響は小さいと推測されます。植生があれば、水鳥などの生物が多く集まります。浸水から都民の財産を守ることも大切ですが、毎日の暮らしの中で自然を身近に感じられることも、豊かな生活に繋がると考えます。</p>

番号	ご意見・アイデア
21	道路や施設を作りたいがために災害対策を持ち出す例が散見されます。現実性のあるデータを開示し、各自治体や市民と議論の上で、必要な対策を行ってほしい。計画の発表より前に、計画段階で各自治体や市民に相談すべきです。
22	【避難所】 ①女性限定の避難所をつくる。 ②動物を連れていける避難所をつくる。
23	安心して渡れる道路、踏切、安心して利用できる駅はセーフシティではないのですか？都心の駅ほどバリアフリーではないのはなぜか？巨大な道路や踏切は、高齢者やママ、子供が利用するには大きすぎて渡りきれません。ただ大きな道路を作ろうとするのではなく地域の状況や特性を見てください。 小金井市のように、車の利用者が少ない一方、高齢者や子育て世代が多い地域には、巨大な道路ではなく、バリアフリーや地域の結び付きの強化が必要で、モノではありません。都心に行きたくても、大手町や新宿、品川などの駅はベビーカーでは行けません。高齢者も同様です。なぜ、バリアフリーを進展させないのですか？
24	【行政の広域化と都の権限拡大】 ①赤字自治体に特別交付金などを供与、他の自治体の提携と合併を奨励 ②重要政策立案機能を都に統合 例:環境、ごみ・資源リサイクル ③全自治体に統一複式簿記会計基準を導入する。
25	1 10月に発生し、東京都で約58万6千軒の大規模停電を引き起こした東京電力の送電ケーブル火災で、出火したケーブルは設置35年が経過した旧式だった。いかに都市機能を持続させるかという根本的なことが欠けています。 2 『地下水管理システム』を採用した豊洲新市場は不適切。盛り土問題よりも豊洲新市場の移転は、将来的コスト(災害、老朽化)を考えると反対します。東京都が推進している水素燃料蓄電池車及び水素ステーション建設は、地球儀を見てもわかるように日本の小国が水素社会になったとして、何になるのでしょうか？ 3 水素燃料蓄電池車及び水素ステーション建設は、下記の内容から明日にでも凍結すべきです。 ①トンネル内における渋滞中に引火に因る火災事故が起きた場合の想定規模の安全性の実証実験及び確認 ②自動車に着くタンクと補給所スタンド(水素ステーション)の耐用年数は20年以上無い。 ③ジャンボジェット機のRolls-Royceエンジンの様に故障箇所があれば操縦士と航空機会社にシステムがありますが、水素ガス自動車にも所有者と販売店に行くシステムは無い。 ④ガソリン車と違い不良整備による事故ははかり知れない。法的罰則規定案は考えて無い。 ⑤災害時の利点よりも問題だらけ。 4 帰宅困難者問題は主要駅から都や区の関連施設に移動するのではなく、主要駅に隣接する商業施設に災害時に帰宅困難者用に代替え可能な施設をつくるべきです。
26	安全・安心は、都民の希望と活力の大前提となるものです。都民の生活、命、財産がしっかりと守られ、その安心感が、東京の活気と賑わいを生み出します。そして、一人ひとりが、活気あふれるまちに愛着と誇りを感じ、自ら率先して地域の安全・安心を守っていくことが、安全・安心・元気な“セーフシティ”の目指すべき姿です。 東京2020大会を契機に、低炭素社会の実現に向けた環境技術の更なるイノベーションや、食品ロス対策を含めた環境配慮型ビジネスモデルへの改革、河川・運河などの水質改善や大気環境の更なる改善を進め、東京の快適な都市環境を次世代に継承します。11月20日新聞記事では、感染症対策がなされないと、2020年には、新興感染症が広がった場合、大きな損出が見込まれています。この対策として日本が発明発見した光触媒技術を大胆に取り入れることを提案します。
27	木密地域の早期改善は首都直下地震の被害を最小限に抑えることに直結する極めて重要な取り組みであることから、不燃化特区制度による市街地の不燃化や特定整備路線の整備による延焼遮断帯の形成等により、燃え広がらない・燃えないまちを実現していく必要があります。 都内には、旧耐震基準で建てられた老朽ビルが多く存在していることから、国家戦略特区に基づく規制・制度改革等も十分に活用し、都市機能が高度に集積している地域等において、民間による優良な再開発プロジェクトを誘導することで、老朽ビルを耐震性に優れ、非常用電源設備や免震・制震装置など防災機能を備えたビルへと更新していくことが求められます。加えて、特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化も促進していく必要があります。 老朽マンション・団地・ニュータウンの再生や空き家対策、電線類地中化・無電柱化、街のバリアフリー化、河川・港湾施設の地震・津波・高潮対策、橋梁等の老朽化対策、連続立体交差事業等のハード対策も重要であり、帰宅困難者対策条例の更なる周知や備蓄の促進、地域防災力の強化、BCPの策定支援等のソフト対策も求められます。 これら一連のハード・ソフト対策を通じて、都市防災力の向上をより一層推進していくべきです。
28	【自転車通行帯の整備】 自転車が進道が一番左を通行できるようにしてほしいです。 【駅のホームドアの設置】 目の不自由な方にとっては喫緊の課題です。 【駅や歩道橋へのエレベーターの設置】 体の不自由な方が利用しやすい基盤作りを目指してほしいです。

番号	ご意見・アイデア
29	「適性管理」は「適正管理」の方が意味合い的によいのではないのでしょうか。
30	都市インフラの更新・長寿命化に特に力を入れてほしいです。
31	<p>①木造住宅密集地域の不燃化の推進が掲げられていますが、現在の狭小で細分化された街区を維持したまま、建物個別に不燃化対策を進めるのでは、緊急車両の進入経路などの課題が解消されません。市街地再開発事業や土地区画整理事業を活用した街区の再編を含めた取組みが必要だと考えます。</p> <p>②税制支援等により最高水準の耐震・免制震装置の導入を促進することで、「倒れない・燃えない」からさらに踏み込んだ、「地震が起ころうとも犠牲者が1人もでない都市」、「地震が起ころうとも生活やビジネスを続けられる都市」を目指すべきだと考えます。</p> <p>③災害時の避難場所や救難活動の拠点として、体育館や公園が本当の意味で活用できるよう、プライバシー性の高い間仕切りや避難生活者用のマット、断水時でも使えるトイレなどの設備の設置などに取組むべきです。また、これに関連し、都市公園には「誰でも利用できる公園」を実現するために人々の活動が制限され過ぎてしまい「あまり利用されない公園」となっているケースもあります。「誰もが利用したくなる公園」を実現するために、公共性の考え方を再定義し、コンセッションの導入や都市公園内における建築規制の緩和を図るなど、それぞれに個性的で魅力があり、平時の賑わいと、災害時の有用性を両立する施設等の整備を推進すべきです。</p> <p>④商店街や町会・自治会に加え、都内各地でエリアマネジメント団体も地域の活性化に取り組んでおり、これら団体の活動の促進も、今後のまちづくりのテーマとして欠かせない視点であり、ご検討願います。</p>
32	<p><b>【無電柱化】</b> 電線の地中化が進められていますが、もしも災害が起き電線が断絶した場合の復旧はどの様に行われるのでしょうか？どのように断絶箇所を特定するのでしょうか？土に埋めるだけの場合、全部掘り起こして調べるのでしょうか？迅速に復旧できる体制を整える必要があると考えられます。</p> <p><b>【裏路地の保存】</b> 木密地域の再開発が進んでいくと思われます。昔ながらの下町の風情。飲み屋街の細い裏路地の隠れ家。そんな都会でありながら、人のぬくもりや、別世界のような雰囲気。そういった雰囲気を残しつつ不燃化などの対策をしてほしい。外国人観光客も都会と昔ながらの物が混在するそんな東京に魅力を感じているのでは無いのでしょうか。</p> <p><b>【人のつながりを見直す】</b> 最近では学校で知らない人には挨拶をしないように指導されているそうです。果たしてそのような世の中で良いのでしょうか？もしかしたら、泣いている子供は何かの事件に巻き込まれていたかもしれない。声をかける事で助けられたかもしれない。人に声をかけることが当たり前の中を望みます。</p> <p><b>【自治会の存続】</b> 人との繋がりが希薄になる中、人と関わりたくない人や、仕事が忙しくて自治体に参加しない人も最近が増えて居るようです。自治体が無くなれば、お祭りなどの地域の行事も無くなってしまおうでしょう。治安と地域の伝統を守るためにも人との繋がりを大事にしていくように働きかける必要があると思います。</p>
33	<p><b>【こういうセーフシティであって欲しい】</b> 昔から続く飲食店を一押しできないかなと思っています。都のガイドに載せたり、東京版ミシュランみたいのを作ったり。載せるお店もただ機械的に20年、30年続いているお店で大丈夫かなと思います。</p> <p>通りに飲食店があってそこに毎日客が続いてそれが20年、30年と続くと他所からチェーン店の飲食店が進出してきます。勝ち目が無いのですが、家族に病が起きたり、タワーマンションができて近くの住人が生活様式が変わったりすると今まで頑張ってたお店がコロッと傾くことがあってもったいないなあと思います。</p> <p>長く続いているお店は椅子が低いお店や一家4人で囲んで食事をとれるテーブルがあるお店も多いですし、チェーン店になるとテーブルが無かったり、カウンターから突き出たような変に高い丸椅子を置いたりして、年を取って腰が曲がって低くなった年配の人や一家の母親が一食作る手間が省けるのが無くなって、気軽に安価な食事を取るのが難しくなるかなと思います。食材も20年30年と長く続いているお店のほうがそこそこの、それでもスーパーのよりもチェーン店よりも素材が良い、美味しい食材を使っています。</p> <p>一家4人が週末に顔を合わせて食事ができる場をもっと作る、年を取った人でも今までと普通にもっと外に出て移動できるようにする。そういう点で昔から続いている飲食店に一度脚光を浴びたいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
34	<p>【電力供給システムについての提案】 無電柱化政策につきまして、町の景観をよくする上で非常にいい政策案と感じます。折角、無電柱化工事に伴い、送電網ならびに変電所施設を東京都（いずれは民営化でもいいと感じます）で完備するシステムを、もしくは東電より送電網ならびに変電所施設を買収することを提案していただきたい。提案するメリットが以下の通りあります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①再生可能エネルギーが完備できた際に、安定且つ低価格で電力供給が出来ること。</li> <li>②先の東電の変電所事故や震災が起きた際、各家庭に安定供給がしやすいこと。</li> <li>③新電力会社の参入や出資がしやすいこと。</li> <li>④東電の送電網もしくは変電所の買収が可能であれば、その費用を廃炉費に回せること。且つ、変電所施設の減価償却年数から見ても比較的安価で購入が可能と思います。</li> </ol> <p>役所、学校施設や生産緑地などの遊休地、道路の中央分離帯などの広い面積にソーラーパネルを設置検討を行う他、各家庭のソーラーパネル助成金の検討。現在ソーラーパネルは高額のため、各家庭の設置も難しいところがあります。新築にはエコ減税があるかと思いますが、そこ以外の家庭にも配慮できるシステムを構築しエコを促進すべきです。</p> <p>【災害対策についての提案】 一番近くの指定避難所に行けるシステムに変更を提案します。町会制度を各自治体で設け、近隣住民の把握をスムーズに行えるシステム構築。町会制度は、小学校もしくは中学校で担当をすると安否確認もしやすく、且つ自治体の災害対策課にも伝達がスムーズに行くと感じます。</p>
35	<p>「地震に強いまちづくり」には、公共施設全般を包含した表現にすべきです。築地市場の移転を速やかに進めるために申し上げています。地震だけでなく、雨漏りやねずみ等、築地市場の衛生環境は悪く、急増する外国人旅行者にも食の不安を抱かせかねないのが現状です。必要な対策を早急に施し風評被害を払拭して豊洲への速やかな移転を求めます。</p>
36	<p>帰宅困難者対策としては、在勤者に対しては、各事業所・企業ごとに、在勤者を自社ビルに囲い込み、3日分の備蓄を中小ビルに用意させています。しかし、耐震性の優れた最新の高層ビルの勤務者は、囲い込めたとしても、中小の古い、耐震診断すらできないビルの勤務者には、安全な避難場所が求められています。</p> <p>都内で95万人もの帰宅困難者が出ると、都の調査では、予測しています。東京では、各区が、個別の民間企業と協定を結び、空きスペースに帰宅困難者を受け入れる合意を取り付けていますが、まだまだ、焼け石に水の状態です。</p> <p>このままでは、オリンピックを控え、世界から集まる人々に、「セーフシティ東京」とは、恥ずかしくて言えませぬ。そこで、「大震災」には、「逃げ出す街」でなく、「逃げ込める街」造りが求められているといえます。容積率を緩和されている大型の高層ビル（新宿の場合は、30数本の超高層ビルがあります。）のオーナーに、帰宅困難者のための、空きスペースを解放させるために、以下の2つのことを立法化及び条例化することが重要と考えております。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①国家戦略特区などを活用を通じて、「耐震性の優れている高層ビルの所有者は、大災害時にロビー階のスペースを、帰宅困難者に向け開放する」ことを義務付けること。</li> <li>②帰宅困難者を受け入れたビルの所有者は、建物の崩壊、損傷等により、万一、避難者の生命、身体、財産に損傷、致死あるいは損害を与えたとして、その責任を「免責」にすること。</li> </ol>
37	<p>地域の防災力を高める“セーフシティ”を目指した街づくりを進めてほしいです。</p> <p>東京都が現在進めている都市計画道路第4次事業化計画は昭和37年頃に計画されたものであり、50年以上前と現在では経済社会環境が大きく変わっており、見直すべきは見直す。首都直下地震や異常気象をはじめとする様々な災害リスクに対して大規模道路（18、16m幅の）が必要か？大型道路建設は緑豊かな自然環境、生物の生態系の破壊のみならず、町内が分断され地域コミュニティを分断することになります。</p>
38	<p>東京一極集中をやめることで安全になると思います。</p>
39	<p>【賑わいや活力あふれる地域社会をつくるため、商店街の振興に取り組む】 各地の都市計画道路の建設強行により、商店街さえ分断するもので、実情はこれに反対します。</p> <p>【耐震化、木造住宅密集地域の不燃化】 わずかな助成費用に留まるもので、不十分です。</p> <p>【都道や区市町村道の無電柱化】 既存の道路についての対処は極めて粗末な実情です。まずは既存道路への改善対策こそをすべきです。</p> <p>【支援物資が被災者にスムーズに届く体制】 頻繁な防災訓練をもって「ドローン」操作の習熟と活用の実現を盛り込むよう希望いたします。</p> <p>【避難体制の確立やがけ崩れを防ぐ】 危険性を予想し得る場所へは、鉄道の敷設や新興住宅地の開発を行わない政策をとることが第一です。</p> <p>【身近な地域が、活気に満ちて住みやすい】 都市計画道路の建設・都市整備により、そこから追われる居住者が増加している現実とは乖離しています。</p> <p>【商店街や町会・自治会などの地域のコミュニティを活性化し、まちの活力を高めます】 行政主導による都市計画道路の建設・都市整備により、立ち退きを余儀なくされる人、大勢の立ち退きにより既存の町内の防災組織の機能の減退、市民感覚とはかけ離れたこのような政策に現実味を感じることができません。</p>
40	<p>何か想定外の事があっても即時に対応できるようにしてほしいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
41	大規模災害等を想定したプランに安心を感じました。今後は、訓練等も多くなってほしいです。
42	いいと思います。
43	【地震、災害の項目に関して】 低利用駐車場等を都市農園に転用→災害時避難空地の確保と食糧確保、都市緑化へ貢献できます。
44	この項目について「実行プラン」はかなり良く出来ていると思いますが、コンセプトの違いからでしょうか大切な視点が抜けていると思います。都心部は高密度・高効率の交通網から交通安全重視、郊外は休養と癒しの為の自然環境やコミュニティを大切に「心のセーフ（平穏・安堵）」を重視した環境づくりを目指すべきだと思います。 例えば、郊外地域では、巨額の費用がかかる自動車を意識した新しい大きな道路は最早不要であって、既存道路の安全と利便性を目指した改修・手直し（車のすれ違い可能な局所的に広い部分を所々に設けるなど）で十分です。そのほうが車の総量や速度が低くて安全、かつ環境にも住民にも優しいです。
45	①地域コミュニティ活性化には、大型道路や高層マンションをやめてヒューマンスケールのまちづくりが必要条件です。 ②安全・安心なまちづくりのため、はしご車の届かない高さの建物抑制を行うため都市計画税等増税すべきです。 ③今は住んでいないこれから住む、どこかの誰かの「まちづくり」ではなく、今現在住んでいる、生活している人を大切にするまちづくりをすべきです。 ④大型道路、大街区「街造り」は今あるコミュニティを分断、破壊するまちこわした。個人の建物の耐震化、耐火化を基本とするまちづくりを。 ⑤世田谷区太子堂のまちづくり（中略）の全都展開を望みます。 ⑥自治会イコールコミュニティではない。自治会長の意思が、コミュニティの意見、合意ではないです。
46	既存の道路を拡張し無電柱化をはかり災害に強い街づくりを進めてほしいです。 既存の道路を拡張し無電柱化をはかり災害に強い街づくりこそが防災力を高める。大型道路建設は防災力を高めることにはならず、既存の道路を拡張よりコスト高になり経済効果が低い。小池知事の掲げる都民ファーストの視点にたちまは地域住民の意見を聞き計画を実施すべきか見直すか検討してほしいです。
47	【グリーンレジリエント セーフシティ実現案】 物的資本（インフラ）＋自然資本を活用し、環境・防災課題の解決と成長を目指し、安心して一人ひとりが平時も災害時も助け合う第2第3の故郷「みんなの地球公園（仮称）」を全国世界に持ち、時間通貨等サイバー・鉄道・道路・河川・生態系・インフラの助けも得て、森里まちひとと川海しごとをつなぎます。
48	【アレルギー対応備蓄の推進～誰もが安心して災害支援を受けられる体制づくり～】 いま、1クラスに一人以上はアレルギーを抱えた子がいます。実際に平成25年度に文部科学省が調査では、小学生の4.5%が食物アレルギーを持っているという結果が出ています。 現在の公的備蓄では、アレルギー対応した食品を一部対応して進めておりますが、実際の被災地では、アレルギーを持った人と持っていない人を分けて支援することは事実上不可能でした。特に災害が発生した初動期においては、物資の確保から配布までを進めることだけで手一杯であり、これから想定される首都直下地震でもそのような区分をした上での配布は絶対に行えません。そのため、本実行プランにおいて、以下の2点を提案させていただきます。 ①東京都が備蓄している非常用食料のアレルゲンフリー災害用非常食への入替。立川の地域防災センター内備蓄倉庫など、東京都が備蓄している非常用食料を、アレルゲンフリー（厚生労働省指定27品目）の災害用非常食へ入替を進める。 ②一時滞在施設や市区町村が所管する避難所でのアレルギー対応支援の啓発と推進。現在事業で進められている東京都民間一時滞在施設備蓄品購入費用補助事業や、備蓄の日フェスタ、防災展などでも、アレルギー対応支援について課題の一つとして取り上げる。

番号	ご意見・アイデア
49	<p>【東京オリンピック・大規模災害に備えた道路陥没予防対策 交通・物流ネットワークを利用する都民ファーストのセーフシティを実現】</p> <p>&lt;現状&gt;知られざる路面下空洞問題          &lt;課題&gt;道路陥没対策への取組が不十分          &lt;実行プラン&gt;セーフシティを実現するために都内全域の路面下総点検・補修を3年間で実施。東京オリンピック・大規模災害に備え、交通・物流ネットワークの道路陥没を予防し、安全を確保するために危機管理の視点から都管理道路全域の路面下総点検・補修を3年間で実施する。</p> <p>【輻輳する地下のインフラの安全対策に着目した歩道、区道のセーフ・ストリートの実現】</p> <p>&lt;現状&gt;都内の道路下には数多くの埋設物が複雑に敷設されている。          &lt;課題&gt;埋設物は事業者単位に台帳管理され、地中には何が埋まっているか一元管理されていない。          &lt;対応&gt;都内全域の地中の台帳化と無電柱化でセーフ・ストリートを実現する。          &lt;効果&gt;調整・工事に時間を要する歩道工事を円滑に推進</p>
50	<p>1 10月に東京都で約58万6千軒の大規模停電を引き起こした東京電力の送電ケーブル火災で、出火したケーブルは設置35年が経過した旧式だった。いかに都市機能を持続させるかという根本的なことが欠けている。</p> <p>2 国土交通省から脱ゼロメートルプロジェクトとして「新小岩公園防災高台整備事業」が4月に発表されている時代に人口減少で財政的余裕がなくなるため、減りゆく人口に併せて戦略的な集約を進めて的確な維持補修更新をしていく必要が生じる現在に求められるのは、「維持管理が経済的に可能で、エネルギー使用量が少なく、自然環境への負荷が低く、自然災害へのリスクが低く安全な社会基盤施設（設備）が望まれる時代」なのに『地下水管理システム』を採用した豊洲新市場は不適切。盛り土問題よりも豊洲新市場の移転は、将来的コストを考えて反対します。</p> <p>3 水素燃料蓄電池車及び水素ステーション建設は、実際水素の取り扱いも未だ不透明な状況だという状態でトンネル内における渋滞中に引火に因る火災事故検証もせずにメーカー主導で行っている現状は、東京オリンピック開催国として安全性の面で東京都は認識不足だと思います。下記の内容から明日にでも凍結するべきです。</p> <p>①トンネル内における渋滞中に引火に因る火災事故で起きた場合の想定規模の安全性の実証実験及び確認。          ②自動車に着くタンクと補給所スタンド（水素ステーション）の耐用年数は20年以上無い。          ③ジャンボジェット機のエンジンの様に故障箇所があれば操縦士と航空機会社にシステムがありますが、水素ガス自動車にも所有者と販売店に行くシステムは無い。          ④ガソリン車と違い不良整備による事故ははかり知れない。法的罰則規定案は考えて無い。          ⑤米国軍は藻類バイオマス燃料路線を進めている。地震が活動期に入っている時代に日本は水素社会？災害時の利点よりも問題だらけ。福島原発事故は放射能除去フィルターが無かったために水素が排出できずに起きた事故です。</p> <p>4 帰宅困難者問題は主要駅から都や区の関連施設に移動するのではなく、主要駅に隣接する商業施設に災害時に帰宅困難者用に代替え可能な施設をつくる（食料・水の保管は前提）。帰宅困難者施設には、補助金を出してビジネス（オフィス）コンビニを併設し、いざという時にセルフサービスパソコンや携帯充電ができるようにする。</p>
51	<p>【「広域拡散型レンタ(コミュニティ)サイクルシステム」の提案】</p> <p>①身近な地域にある商店街の店頭や狭い空地に自転車の貸出ポートを設置することで、地域の活性化を図ることができます。          ②自治体との協業により、地震の発生時の利用ルールを明確にして、設置した自転車を無料開放します。          ③数年に一度のゲリラ豪雨に備えて、駐輪機器としてコンクリート製などのサイクルブロック【DONO】を選択して土嚢の備蓄としても有効です。</p>
52	<p>まちの元気創出</p>

<都立学校分>

53	<p>「安全第一」という言葉があるぐらい安全は重要だと思うので、早めに行動してほしいです。</p>
54	<p>テロ対策</p>
55	<p>①無電柱化のために電柱を下に埋める。          ②ゴミやガムの吐き捨てを減らす。</p>
56	<p>①予備のインフラ整備          ②緊急時の連絡手段</p>
57	<p>電柱はいらないから、早くなくしてほしい。道路が広くなるから。</p>

番号	ご意見・アイデア
58	孤独死のように、知らぬ間に亡くなっていることのないように。
59	地震の対策はしっかりした方がいいと思います。
60	震災の帰宅困難者になった時、一人で歩いて帰れる気がないので、安心な街にしておいてほしいです。
61	良いと思うけど、費用等を考えると短期間で出来るものではないので、なるべく短時間で効果があるものであれば、皆の支持を集められると思います。
62	<ul style="list-style-type: none"> <li>①耐震化のために電線を守るよう強化をする。</li> <li>②災害用の施設を製作</li> <li>③ドローン等の小型ロボットの活躍を増やす。</li> </ul>
63	今の生活のままでもいいです。
64	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年収など関係なく、色々な人に平等に地震に強いまちづくりや家の補強のお金を国から出してほしいです。</li> <li>②都市の長寿命化・更新はいいと思います。</li> </ul>
65	特定緊急輸送道路沿道の耐震化だけではなく、もっと日本全体を耐震強化した方が良いです。
66	実現できたら良いと思う事なのですが、4年間のうちに完成できるのか。資金は足りるのでしょうか。
67	地震による液状化の対策
68	東京都だけでは難しいかもしれないが、ネット犯罪なども増えているので、インターネットを安心して使うことができるようにしてほしいと思います。そして、安心して都政を任せるためにも、透明性のある政治にしてほしいです。
69	電柱を地中化する工事の間、その近くの建物の電気はどうなるのか気になります。
70	<ul style="list-style-type: none"> <li>①テロ対策について具体的な例を挙げてほしい。</li> <li>②色々な国から、人やものが流れてくるけれど、感染症など健康面に関しての安全性はあるのでしょうか。</li> </ul>
71	<ul style="list-style-type: none"> <li>①避難所の見直し（シミュレーションを使った各地域の被害予測、地質から滞足して再改定）</li> <li>②高架線路の安全見直し（崩落時の緊急対処方法など）</li> </ul>
72	多摩・島しょ地域では動物もたくさんいると思うので、自分たちの身を守る対策とともに、どのように動物を守っていくかという方法も考えてほしいです。
73	地中に電柱を埋める工事期間中、電気供給はどうするのでしょうか。
74	<ul style="list-style-type: none"> <li>①具体的に災害時にどんな場所にどんなものが必要なのか。</li> <li>②自然をもっと人々に体験してほしい。</li> <li>③人口集中し過ぎを利用して、都市の良さを地方に伝えて「日本」を良いまちに。</li> <li>④テロ対策、犯罪対策は安全安心に直結する優先事項</li> </ul>

番号	ご意見・アイデア
75	首都直下型地震が起きる可能性は70%以上とわかっていて、もし30年以内に起きなかったとしても、その先いつ起きるかわかりません。首都直下型地震が起きた場合、日本で最も機能していないといけな首都圏が壊滅的なダメージを受けます。これほどまでに事の重大さが明瞭化してきているなら、もっと早く、第一に地震に強いまちづくりを進めていくべきです。何があろうと命が一番、地震に強いまちづくりを最優先で進めていってほしいです。早く。
76	近々、首都直下型地震がくるという確率が上がってきているので、できるだけ災害を少なくするために今から政策を練ってほしい。優先順位はオリンピックと同じくらい大切だと思います。そして事故をなくしていくために、自転車専用の道を全ての道に作ってほしいです。
77	最近自然災害が増えてきているので、セーフシティのまちづくりがどんどん進んでいってほしいです。
78	歩きたばこ、歩きスマホの取り締まり。そのためにこれらを禁止する政策を実施したら良いと思います。
79	子供や家族がのびのびくと暮らせるように。公園をつくったりして、最終的には選べるほど多くしてほしいです。
80	無電柱化など他の先進国から学び、よりよいまちにしていくことは共感を持ってました。
81	学生、子供に都市がまちをつくっていること、自分の身の守り方などを説明し、置いてけぼりにしない。
82	予算問題が不安です。
83	本当にそんなことができるのか、と思いました。
84	もう少し現実的なことをやるべきです。よくこのようなことを耳にしますが、実際は何も変わっていないように見えます。
85	地震大国である日本だからこそその方向で政策が考えられていて、災害への対策が整っていない国と地域への見本となれると思います。
86	①方向性は間違っていないと思いますが、どの議員でも同じことを言いそう（他のシティの部分でも同じ）。 ②セーフシティの寿命を延ばす、という方針は高齢化の対応を早く進めるべきかと。
87	総論部分について ①「社会全体を見る」というより、細やかな配慮を必要とすると思うので、警察に行きやすいようにするべきだと思います。 ②仕事というのではなく、個人個人で意識をできるようにしていけたらいいと思います。また、個人が動きやすくなった方がいいと思います。
88	都市電力が停止しない、警察を身近なものにする、治安維持の継続、つながりをもつ、ネット上の安全、仕事力と利益があっている、高い建物をなくす（欠陥工事がなくなる）。
89	不審者、異物混入防止、高齢者ドライバー、高齢者が少なくても子供が多い、人身事故防止のドア設置、地域で孤立した人が出ないように、ごみ箱を増やす。
90	高齢者ドライバーへの対応、山手線みたいに人身事故を防止する扉を全てに設置する、ごみ箱の設置、理想の人口・年齢比を目指す、不審者。 災害で交通機関、電気などが止まることは仕方のないことだけど復旧が遅いと思うから、そこを素早く対応できるようにする。

番号	ご意見・アイデア
91	①殺人などの事件の発生率を下げしてほしい。 ②高齢者の運転による事故、人身事故を防いでほしい、ごみ箱の設置、理想の人口比に近づける。 ③地域とのかかわり、治安への配慮、耐火、避難場所の増加 ④消防団の若者を増やす、都市電力、個人の意識を高める。
92	①首都直下地震の対策をもっと考える。 ②地域のつながりをもっと強くする。 ③避難所を増やす。町に1個ずつ避難所をつくりたい。
93	【地震に強いまちづくり】 首都直下地震に備えて必要 【まちの元気創出】 人が少ない、夜遅くはほとんど人がいない。昼間はまあまあ。バイト先も冬になると客足がひくらしい。少し遠目の商店街も店をたたみ始めたところがあるらしい。 【まちの安全】 最近事故が多い。
94	①自然災害への対策 ②犯罪を少なくし、治安のよいまちに。 ③地域の人たちとの関わりを増やし、地域の人たちと身近になることで安心する。 ④高齢者の事故は、電車を地下鉄みたく仕切りをつくって転落事故を減らす、など。
95	①ライトをもっとつけたい。犯罪者をなくしたい。 ②地震や津波に対する確保をしっかりしたい。自然災害の対策や避難所を増やして逃げやすくなるように。
96	①食糧だけでなく、実際に災害時に役立つものをもっと広く知らせて置いた方がいい。 ②病院に行かず、お互いにけがの処置ができるよう、学生などに実施している講習をもっと身近なものに感じてもらい、処置ができる人をもっと増やすべきです。
97	①ゴミ箱をもっと多く設置すればいいと思います。 ②地域の人との交流を深める。
98	①2020年までに、主要政策全て実行するのは不可能ではないか。 ②災害時に食料があったとしても、避難所が足りなかったらどうするのか。 ③都民一人一人が災害に対応できるのか、応急手当の仕方を学ぶ機会が少ない。
99	①地域の人との関わり、電車の出入り口の手前、高齢者の交通事故、ごみ箱の設置、避難所が足りなかったらどうする、電力が停止しないように、地域での協力体制 ②2020年までに全て実行するのは大変では。
100	【木造密集地域の不燃化】 空間を作ると言っていましたが、それはつまり家を潰すということであり、昔からある日本の家屋をなくすのは伝統的なものをなくすということなのではないでしょうか。
101	電柱のない街。電柱が地震で倒壊すると、直接的に地震から生き延びても火災や感電で死ぬリスクが高まるし、何より高齢者や障がい者の避難が危険なものになってしまうから。
102	「地震に強いまちづくり」「豪雨・土砂災害対称」を主に強化してほしい。3.11や、広島土砂災害、熊本地震の時、新聞やニュースでもとても大きな被害だということが伝わった。このような災害が起きた時、人口が密集し、日本経済の中心である東京が被害を受けたら大変なことになります。なにより自分達の安全のためにも被害を最小限にできるようにしてほしいです。
103	①テロ対策の官民一体とはどういうことですか。 ②サイバー攻撃に対策するだけでなく、インターネットを使ってテロの危険を特定してほしいです。
104	①不燃化は大事だと思います。電柱のないまちは魅力的だけど逆にそれが東京らしさなのでは？ ②一人暮らしのお年寄りを大丈夫にしてほしいです。

番号	ご意見・アイデア
105	いちばんに実行してほしい分野。地震や雨などの自然災害に耐えられることや、地域の安全が確実であり、またそれらが連帯していることは、都民はもちろん、観光客の安全にもつながります →スマートシティにつながる！
106	安全なまちづくりは、もちろん日本人にとっても必要なことだが、日本での地震（災害）を恐れている観光客が、安心して日本に来られるようになるため「スマートシティ」へもつながります。
107	都市インフラの更新を急速に行ってほしいです。首都高が上を通る付近に住んでいるのですが、いつ阪神の大震災のように倒れてくるかが心配で環八をなるべく通らないようによけています。 また、地域のコミュニティの活性化もぜひ具体的に行ってほしいです。マンション化が進み、隣に住む人とさえも交流がないことに不安を感じています。
108	①質の高い医療、障害を通し健康 ②介護士の賃金を上げてほしい。
109	方向性からデメリットの提示が欠落しています。
110	橋や道路などの適切な補修、補強は、オリンピックに関わらず早く実行してほしいです。
111	都心部の高層ビル対策が全くないのは諦めているからですか？安全経路の確保など考えるべきです。今地震が起これば都心は壊滅します。
112	資料には無かったが、空き家対策をしっかりするべきであると思います。ニュースで聞くと持ち主が不明な家が沢山あるとか、近隣の住民が怖がっているなどがよくある。土地の有効活用、安全確保のためにも進めてほしいです。
113	首都直下型地震に対する国民の防災意識を高める取組を行う。
114	夜、帰り道をもっと安心して帰れるように、夜の道を明るくしてほしいです。
115	「東京防災」に基づいた災害対策の指導を会社や学校等で行う。
116	建物の全てを安全だと断言できるようにしてほしいです。
117	災害時により犠牲者を少なくするには、地域のコミュニケーション力が一番重要であるといわれているので、地域内のイベントや何かを通して結束力が高くなっていったら良いです。
118	主要都市の整備を進めるのもいいが、住宅地の道路整備も怠らないでほしいです。
119	都市部では空き地や団地の空室が多かったり、老人の一人暮らしや孤立、孤独死なども多いです。地域のつながりを強くしたり、空き地を新たに住民が来るようサイクルを作るなどし、住みやすいまちにするのは重要です。しかしそれだけでなく、シャッター街となっている商店街の復活など、魅力的な街づくりが特に市部において充実させてほしいです。
120	①一家屋の家同士の間隙や、住宅街の道を広くしてほしい。→火事を防ぐ&消防車などが通りやすく。 ②国の機関を東京以外に散らして、地震のリスクを減らしたい。 ③ニュータウンを増やしたい。

番号	ご意見・アイデア
121	商店街よりも品ぞろえが良く、安く製品を売ってくれるスーパーマーケットに行きがち。歯医者とか美容院とかしか残っていません。周囲に立地してはいけない（スーパーを）とかいう制度も・・・。
122	もっと防犯面の対策をとっていただけたら嬉しいです。治安が良くて有名な日本ではありますが、犯罪はまったくないとは限りません。虐待やインターネット犯罪などが深刻だと聞きます。それから私たちを守っていただきたいです。
123	災害等への対策は必要だと思います。犯罪についてもセーフシティを。
124	倒れない、燃えない都市と言っていたけれど、自分が頑張って働いて建てた家を建て直したくない人もいるのではないか。建て直しの費用どうするのか、年金暮らしの人には厳しいです。
125	そもそもの地面が安全だという保障はない。しかしその点検が行われていないのは、交通量が多いため、重要な要衝となっているからである。安全だと思い込んでいることそのものがいけないことである。当たり前を当たり前と思っはけません。
126	耐震対策を今からしっかりやるべきです。
127	都内でも夜間暗い場所が多く、その地域では犯罪も起こりやすいです。夜間でも安全に歩けるようなまちづくりを。
128	保育園の増加
129	住宅を新基準でたてかえるのはよいだろうが、その間、住人をどうするのが疑問です。
130	燃えたり壊れたりしない方がいいが、もしそうなってしまった時のための対策をする。
131	<ul style="list-style-type: none"> <li>①電力総使用の減少化</li> <li>②たばこの路上喫煙を法律で禁止する。</li> <li>③たばこ税の増税</li> <li>④事故削減のため、一定期間以上車を運転しなかったら（高齢者には定期的に）運転の実技試験をしてもらう。</li> </ul>
132	犯罪を事前に防ぎ、テロなども抑止できるような、圧迫的でない犯罪防止の政策が施行されて、犯罪率が下がるようにしてほしいです。
133	<ul style="list-style-type: none"> <li>①犯罪が無い東京</li> <li>②犯罪・テロを未然に防ぐ仕組み</li> <li>③都民の健康を食事管理によって管理</li> </ul>
134	ハザードマップなどを作り、都全体で災害に対する意識も都の行動だけではなくて変えた方が良くと思います。災害に対する意識は実際に被災地に行って学ぶことが大切だと思います。
135	地震だけでなく、自然災害だけでなく、事故事件のないまち、治安のいいまちにしてほしいです。
136	これに加えて治安も良くしてほしいです。
137	いじめなどに対する画期的な対応

番号	ご意見・アイデア
138	主要政策として、耐震もちろんだが、津波対策
139	地震に対しての対策をもっとする。これを広める。
140	①もっと、丈夫なたてものをつくる。 ②エネルギーは原子力をつかったほうがよいと思います。危険はあるがそうしたほうが電気の流れがもっとよくなる。
141	子どもたちが変な場所でボールなどをつかって道路に飛び出たりしなくなる。
142	①まちの防災力向上や、元気創出などは各々のまちで行えるし、それにつながってくるのでは。 ②災害対策や犯罪対策だと思うので、もっとそこに力を入れて欲しいと思います。 ③防災時の行動方法 ④人との交流
143	地区ごとに点呼をとれるようにして行方不明者などを減らす（防災力の向上）。
144	災害時の連携をスムーズにするために、地域ごとの交流ができる機会や防災関連でなくてもイベントをもっと増やすべき？
145	防犯カメラの設置は安心して住める町にしていくにはとてもいいと思います。災害時のために地域の結びつきを強く。連携のために対処を詳しく書いた本を。
146	建物の耐震化が良い。住民に、どこが避難場所かを知ってもらうためにも、市町村でハザードマップを配ったりした方が良いです。
147	災害に強いというのは安心して住めるためいいと思います。
148	防犯カメラの設置は、プライバシーがどうなるのか。テロ対策にはなっても一般人が常に誰がどのような行動をしているのか見られているのはどうなのかと思います。
149	①電柱のないまち←別に必要なし、お金の無駄？ ②豪雨・土砂災害対策 ③防犯カメラ多すぎても困る。プライバシーの侵害
150	【地震に強いまち】 新しい家を建てたら地震耐性のやつもついている方が良いです。もっと日本もサイバー対策に力を入れるべきです。地方の安全を守るには過疎化をなくすしかありません。
151	管理が厳しすぎると、まちがいい方向に変われなくなってしまう。
152	災害時に外国の方でもスムーズに行動できるように工夫が必要
153	防犯カメラの設置を増やすだけでは無効果→法律に加える。（例）痴漢や万引きの罪を重くする。

番号	ご意見・アイデア
154	<p>自助・共助・公助の連携のために、冊子や本などを作り、読むことを義務付ける。多くの場所に予備電源装置などを設置し、災害等で電気が扱えない状況を作らない。最新のUAVなどを使えるようにし、災害時に生存者を見つけやすくする。</p>
155	<p>まちの元気創出がとても良いと思います。都は他の県などに比べて地域の関わりが少ないと思うので、もっと交流を深めていった方が地域の安全にもつながると思います。（地震に強いまちづくり）首都直下型も来ると言われているので、この対策はとて素晴らしいです。ですが、たまに間違えて速報が流れるので、それを気を付けてほしいです。</p>
156	<p>【災害対策】  予報をもっと正確に出せるように機械技術の発達を進めてほしいです。</p>
157	<p>島の活性化は島の人がんばるのは大切だけど島の外に住んでいる私たちも島について学ぶ機会が多く増えたりとかしたらいいと思います。マンションが増えてきて家族が町にたくさん増えてきていいと思うけど町会に参加してくれる人は少ないから、どんな人がどこに住んでいるのかわからない。また、町会もお年よりばかりで若い人が少ないから、次につづかない。もっとはば広い年齢の人とかかわれると町もよくなると思います。</p>
158	<p>「どこにいても、守られているから怖くない」と身についてしまうと逆に何か事件のあった時の自分の身の守り方がわからなくなってしまいそう。対策と同時に、避難訓練なども強化して広めるといいと思います。</p>
159	<p>【まちの元気創出】  空家の有効活用は、足立区の北千住が取り組んで成功している身近な例があるのでとてもいいと思います。空家がなくなることによって治安良くなります。</p>
160	<p>個人単位、法人単位での防災への備えの推進という点は非常に共感できました。多摩地域の住宅再生には安全対策だけでなく、住みやすい街をふたたび実現することで、多摩地域の住宅地の評価をあげ、多くの人が多摩地域で暮らす事を目標にして欲しい。多摩地域の住民がふえる事は、多摩地域の活性につながります。</p>
161	<p>もっと安心というのを促進してほしいです。老若男女問わず、一人で苦しんでいる人はたくさんいるから、そんな人たちの支えになって明るく切り替えてあげてほしい。「自助・共助・公助」は良いと思います。まちの元気創出をしてほしい。治安に関しても街の雰囲気に関してもこれが基盤になってないと改善されないといいと思います。</p>
162	<p>近年、世界中でテロが起き、特に東京は高確率で首都直下型の地震が起きることが予測されている。今でも充分に対震などがととのった町になりつつあるが、万が一のことが東京、日本で起きたときにも対策ができるような都市となしてほしい。日本の技術は最先端なので、海外からの評価も上がるはずだ。</p>
163	<p>電柱のないまちを作るのは非常に良いと思いました。電柱がないことで、地震などの災害による二次災害を減らすことができます。</p>
164	<p>熊本の震災といい、今後いつか発生する東京直下型地震についてもより考えていくため、一人一人の生活を守る、心のケアのための工夫について興味をそられました。特に、街の安全がより強化されていく、人々がより活気に満ちた町となることを目指していく考えには大変賛成です。</p>
165	<p>首都直下型地震対策は東京オリンピックで他国からくる選手の方々も不安に思っていると思うのでやりすぎるくらいに固めてほしいです。電柱のないまちは将来的にはそうになったら素敵だと思うが、いますぐやる必要はあまりないのかなと思います。</p>
166	<p>多摩のまちおこし。地震対応がはっきりしていればテロの危険がなくなって良い。日本は平和なのでテロ対策はもっとしっかりしていても良いと思います。</p>
167	<p>①地震が起こっても倒れないなどという政策には少し反対です。理由としては自然の力は常に人間の想定の上を行います。ですから災害の時でも困らないなどという政策に重点を置いてほしいです。  ②テロ対策</p>
168	<p>もっと速く、もっと安全で、もっと便利な交通機関や交通網を発達させてほしいです。事故が無くなるような社会づくりをして頂きたいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
169	<p>①無電柱にした場合、地盤が弱い所で電線が切れませんか。また、直すのが複雑にならないのでしょうか。  ②空き家が怖い。特に門灯がないから暗くて怖いです。  ③土地が狭いから、街中に死角が多いのが防犯上不利だと思います。  ④市によって防災にかけられる金額が違うと思う。貧乏な市を支援してほしいです。</p>
170	<p>①駅前が谷地になっていて、大雨のたびに浸水するので、低い土地への対策をしていただきたいです。  ②暗渠になっているところや、昔から湿地であるところは、今でも土地が悪いことが多いですが、その現状を知らない場合が多いと思うので、もっと詳しいハザードマップのようなものを配ったり、学校で地域の地理について教えてほしいです。</p>
171	<p>①地震が起きた後の交通規制の対応を線路を歩けるようにしたりする。  ②二次災害をどれだけ最小に抑えられるか対策を打つべきです。</p>
172	<p>①燃え広がらないようにする。都心に密集している建物を郊外に移すようにする。  ②テロ対策→もっと警戒</p>
173	<p>①23区の密集している建物を分散させる。→火事が広がらない。  ②突発的なテロに対応できる力を持つ機動隊を各要所に置く。(今のままでは力不足)  ③テロに対する自覚などの教育を中学校などに取り入れる。</p>
174	<p>【地震】  交通化の複雑化のため、全てがストップしちゃう。線路を歩けたら…。アプリに頼っているけど地図は分かるのか？複雑な街にも、地図は必要です。  【地域】  一人暮らしも増えているけど、もっと地域のつながり。町でイベント。回覧板。商店街とかも、潰れている。大企業やチェーン店を増やすだけじゃダメ。地域の人や環境のニーズにあった、優しいものを取り入れるべきです。(他都市からの客を増やすより地元愛を！)</p>
175	<p>2020年のオリンピックで外国人が宿泊施設に泊まりにくるため、地震や火事の際の避難経路図に英語をつけることを義務づける。</p>
176	<p>①インフラが全体的にもろく、少しのことで日本全体がすぐとまる。全体的に東京は窮屈になっている。  ②大きな通りはとてもきれいに整備されているが、一本道に入ると狭く、道がガタガタなところが多い。</p>
177	<p>東京はインフラがかなり脆弱であると思う⇒少トラブルがあるだけで、大混乱におちいる可能性があるため、その整備に予算をあてる。  東京で災害が起きたら、おそらく日本全体の機能が停止する⇒難しいかもしれないが、東京への一極集中を改善すべきです。(大阪とかに)</p>
178	<p>【災害対策】  一方通行の道が狭いところがある⇒消防車が入ってこれない。火が燃え広がりやすい⇒道を広くした方がよいです。  【都市インフラの長寿命化・更新】  ①路面電車の屋根にソーラーパネル⇒エアコン等動かすための電力に使える⇒省エネ化  ②全線ホームドアの設置⇒ホームから落ちる人の減少⇒危険が減る。  ③ガードレールの強度⇒柵などもあるが、事故現場とか見ると結構潰れている  ④首都高の老朽化⇒つなぎ目ではねる⇒下手したらハンドルをとられて事故につながる⇒いつかすれる⇒事故につながってしまう。</p>
179	<p>交通規制の影響が多いので、線路を歩けるようにする。災害時の対応を都民がもっと学んだ方がよい。マンション、アパート、地域の人と協力できるように顔なじみになる機会をもつ。二次災害を防ぐように、火事など。</p>
180	<p>地域によって防災対策の取り組みしているところとしていないところの差が大きいため、やるならもっと徹底してやるべきです。理想化しすぎている。あと4年でセーフシティをつくるのは難しいと思います。もっと現実的な目標(2020年までにできること)をセーフシティとは別に、あるいはセーフシティの中期目標として立てるべきでは。</p>
181	<p>①川の増水に唯一耐えた家を海に近い地域でもとりいれたら良いと思います。  ②東京都全体で防災訓練  ③東京の道は少しわかりにくい！道に音声つきの地図を置いて、避難所まで安全に行けると良いと思います。</p>

番号	ご意見・アイデア
182	<ul style="list-style-type: none"> <li>①耐震</li> <li>②災害の情報（避難所など）を発信</li> <li>③テロ対策、持ち物検査など（新幹線や空港で）</li> <li>④地域の交流を通して災害時の共助を目指す。</li> </ul>
183	<ul style="list-style-type: none"> <li>①耐震、免震（家屋やインフラ）</li> <li>②（地下の）インフラの補強。さびてきたり、穴あいてたりしている。</li> <li>③早急な情報発信</li> <li>④地下鉄が多すぎて、地下が不安定</li> <li>⑤避難についての情報共有。学校で教えたり、近所で共有したり。</li> <li>⑥火災報知器の設置（もうしてあるかも）、電気で火をつける。</li> <li>⑦外国人向けの災害防止、テロ防止</li> </ul>
184	<p>首都直下型地震への意識がうすいと、いざというとき多くの手遅れが出ます。エレベーターなど、いざというとき危険なところ向けの対策が必要。帰宅困難者向けに、バス等他の交通手段を用意しておく。警備員がイベント時には安全のために力を発揮するが、行動力UPのために、警棒をもたせてない。</p>
185	<ul style="list-style-type: none"> <li>①非常時の首都機能の移動は必要だと思います。</li> <li>②（せめて）都営地下鉄、全ての駅のホームドア設置。できれば、JR・私鉄に補助金を出してほしい。</li> <li>③もっとリアルな訓練をしてほしい。</li> <li>④119番／110番 以外の番号をつくろう！（わかりやすい⇒必要のない）#7119の普及</li> </ul>
186	<ul style="list-style-type: none"> <li>①首都機能のさいたまか大阪への移転</li> <li>②災害時を意識した避難訓練</li> <li>③首都高の改修の急務</li> </ul>
187	<p>地元民のつながり、人と人とのつながりが皆無です。都市部であればあるほど地域の防災力が著しく低い。地方では昔から根付く祭りなど地元での人との交流が活発ゆえに地域の防災力が高まっていることを生かし、都市部でこそそういった誰もが簡単に参加できる行事を開催し、地域の人との交流の機会を増やして、地域の防災力の向上を図ることが必要なのではないのでしょうか。</p>
188	<p>電柱は埋める。自転車は車道を走ることになっているが、東京には狭い道が多く危険です。</p>
189	<ul style="list-style-type: none"> <li>①3年に1回1世帯のうち1人は必ず防災講座に参加する。</li> <li>②空き家をコミュニティーセンターなどの地域の場に活用する。</li> </ul>
190	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防災について地域に差がある。防災訓練など、同じ町の中でも1丁目と4丁目では、4丁目でしかやっていないかあったりする。いざ起こったときに、一部しか訓練をやっておらず、周りができないのでは意味がない。どの地域でも訓練を義務化するなど、対応するべきです。</li> <li>②2020年、実際4年しかない。理想だけでなく現実を見て、もっと何が1番大事か絞るべきです。</li> <li>③東京の東の方の治安、都心の方など外国人観光客が多くなるなら、もっと治安をよくしてほしいです。</li> </ul>
191	<p>幹線道路などは、震災時は車両通行止めになるので、要所にある通行止めバーの動作確認を。また、道路やトンネルなどの安全強度への定期検査を。都主催で、町全体規模の異常時訓練の実施を増やす。安全の確認と地域の輪を深めるメリット！</p>
192	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全ての建物、耐震対策</li> <li>②電気を作る器具を各家持つようにする。（停電した時用に）</li> </ul>
193	<ul style="list-style-type: none"> <li>①住居の分散。密集していると延焼など、被害拡大のおそれ。</li> <li>②テロ対策。警察の強化。どうしても海外のことと捉えて、身近に思えないため、民間への教育を進める。</li> <li>③通勤電車路線のホームドア設置推進</li> </ul>
194	<p>震災時には共助が大切になってくるので、地域の防災意識が高まるように、消防団などとともに協力してイベントを行ってほしいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
195	無電柱化ということは聞きましたが、どちらにしろ地面に埋めても地震などで切れてしまい、同じような問題が出てくると思います。そこらへんは、どう考えているのでしょうか。
196	まちの安全・安心確保の所で、防犯カメラの設置について、書かれていますが、今、防犯カメラを多く設置するのに反対の声も多いと思うので、カメラでなくても、例えば交番の数を増やすなどの他の案も考えてほしいです。
197	地面に電線を埋めたら地震が少しでもあった時に大変な被害を被るのではないですか。工事をするときの自然の保全はどうするのでしょうか。
198	電柱の代わりにどうするのか。電気を地下に通す。
199	無電柱化の工事を進める際、その地域の自然は保全できるのでしょうか。
200	交通設備をしっかりとしてほしい。自転車のマナーが悪く危ない、法律や決まりを創った方がよいと思う。西武線のふみきりを立体にしてほしいです。公共Wi-Fiを増やせば災害時でもつかえる。災害時のメンタル面を考えた方がよいと思う。例えば、バリアフリーがされている場所を避難場所にできれば、気持ちの面で楽なんじゃないかと思います。
201	①私たちより、後の世代に災害の恐ろしさ、戦争の悲惨さを伝えてほしいです。 ②物資の仕分け交通が原因で、避難所に物資が届かないということが無いようお願いいたします。
202	小中学校のトイレの様式化を早急にお願ひします。小中学校は災害時には、お年寄りも使う避難場所になるところです。誰もが安心して使えるように、また、普段の子供たちの生活・学習環境のためにも、洋式化を進めてください。耐震化も並行して進められるだけの予算は出して当然かもしれません。
203	電柱がなければ、空を見上げたときに、星を邪魔するものがなくなる。税金を親が払っているから、備蓄セットなどを一家に1つ都から提供しても良いのではないかと思います。
204	「セーフティ」に関しては、日本の技術がすぐれているので、うまく実用化して頂ければ問題ないのではないかと思います。
205	最近、子供たちが交通事故にまきこまれて怪我を負ったり、亡くなったりしているケースをニュースでよく見えます。それだけではなく、2020年に控えた東京オリンピックでは、外国人の方々がいらっしゃるのだと思います。しかし、その外国人の中にテロリストが混ざっているのかもしれない。観光客や都民を守るため、「安全・安心の確保」に努めて頂きたいです。
206	古い技術の寿命をのばしても意味がないと思うので、新しい技術に更新、改良していくということが重要だと思います。
207	安全な町づくりを目指すことは、日本の技術の向上にもつながると思い、また住まいでも住民どうしがお互いに助け合うというなかなか実現するのが難しいこともスムーズにできるようになるかもしれないと思います。
208	①私の住んでいる家のまわりにも空家が何軒もあるので、ぜひ有効活用してほしいです。 ②長時間労働の解消について、私の母は看護師で管理職に就いているので、帰りがとても遅いです。しかし、お給料はそれに見合っていないように思えるので、それならもっと母と一緒に過ごす時間を増やしてほしいです。
209	都市のインフラの長寿命化、更新について、これから先は新造していく時代ではなく、維持していく時代だと思うので、早いうちに対策をたて、補修を進めてほしい。それぞれの町だけでなく、町同士のつながりや関わりが増えるともっといいかもしれない。
210	①地震がおきても交通に安全な町が良い。 ②人身事故などの電車のトラブルもかいけつしてほしい。

番号	ご意見・アイデア
211	災害大国といわれる日本にあり、さらに危険があるといわれる東京だから、少しでも早く対策をする必要があると思います。2020年は外国人がたくさん来るので、それを含めて考える必要があると思います。
212	日本は地震や土砂災害などの災害が多いから、犯罪よりも災害に重点を置いた方向性は良いと思います。地震に対する恐怖心が国民に広がっているから、地震対策はしっかりとしてほしいです。
213	①「木造住宅密集地域の不燃化」は具体的にどんなことをすれば可能になるのか…。建てなおすなんてこともお金がかかる、住民はどうするんですか？ ②博多の道路の陥没を受け、東京も定期的な点検や補修が大事ですね！
214	「どこにいても、守られているから怖くない」と言われていることが怖いんです。それはどこにいても監視されていることを暗に意味するように思われます。そもそも現代で不安が高まっているのは失業や貧困への不安。隣人さえわからない、優しさを感じられない不安が由来すると思われます。そうした中でさらに監視することは不安を増大させます。それよりも、もっと世の中が大きな雰囲気になるべきです。
215	①災害についての対策は、とてもよいと思う。大きな震災などを経験している日本ならではの案だと思います。 ②防犯カメラよりも警官の方が抑止力としては効果があるのでは。
216	①都心だけでなく、多摩・島しょ地域もしっかり計画してあって良いと思います。 ②不審者を識別する防犯カメラを取り入れて、事件が起こったと同時に対処できるように。 ③交番、増やした方がいいと思います。 ④自然環境、地元の人にも配慮
217	防犯カメラは事件が起こってからの解決に役立つのであって、守ることはできないのではないのでしょうか？
218	「地震対策の強化」これを徹底していただきたいです。私の学校は下町にあるので、通学路には古い建物（良く言えば味のある建物…？）が沢山あります。しかし30年以内に必ず来ると言われている首都直下地震におそわれてしまったら、おそらくこれらの建物は一たまりもありません。耐震政策が進んでいない背景には、地震への人々の意識の低さだけではなく、耐震化のための費用が高額であることも挙げられると思います。もっと地震に強い町をつくるためにも、こうした費用問題を解決してほしいです。
219	自然災害に対しては慎重に考えるべき。防犯カメラがあっても抑止力以外は後の事にしか役立っていないから未然に防ぐ対策を進めるべきです。東京は、島なども多く含んでいるから、その事も考慮に入れる事が必要。災害の対策だけでなく、人々の生活の支えを作るべきです。
220	いくら災害に対して対策を進めようとも、どれほど大きな災害がくるのかわからないので、災害対策よりも、災害が起こった後の事後対策をより強化するべきだと思います。
221	まちの安全・安心においては、警察官の増員、交番のより多くの設置が求められます。防災に関しては、耐震化は推進すべきと感じた。木造住宅密集地域の不燃化は建て替えの補助金等で支援するべきだと感じました。
222	防犯カメラの設置はすごく良いと思います。防犯カメラをもっと設置することで、未然に犯罪を防ぐことができます。ニューヨークの防犯カメラをみたらう？
223	防災について、2011年の東日本大震災のように、大丈夫と思っていても堤防が崩れたりするということはあると思うから、倒れない、くずれない、などという街作りを目指すよりも、起こったときに、どのように行動したらよいか、被害者を減らすために考えることも大切だと思います。首都直下地震では、東京湾から津波が来たり、河川があふれることも懸念されているが、島しょ地域にはあるのに、都心での津波対策は十分といえるのでしょうか。
224	外国人による犯罪が多いのは、問題だと思います。怖い。もっと安全な日本になってほしいです。
225	外国人の犯罪への対策。地震などの災害で使う防災グッズや食料などの揃え方が分からない人や時間がなくて揃えられない人の為にセットにして地域で配ったり販売するなどの対策をすれば、各家庭の防災のレベルが上がると思います。救急車両などの通行のために周りの人達の立ち退きがあり、生活に困る上にその街の景観(自然など)が破壊されてしまうのは、しかたのないことかもしれないけれど。

番号	ご意見・アイデア
226	私の叔母が、地震対策の家にしたいがお金がないと言っていました。古いお家なので耐震がすごい良いとは言えないため、多少そのような事があれば対応してほしい。友達がやたら津波について心配していた。避難場所として高いところをつくってほしいと思います。外国人の犯罪をもう少し減らして欲しい。機械の使い方を分かりやすくして、ネット犯罪を減らしてほしいです。
227	地震が来た時の避難所、避難グッズの蓄えをもっと増やして東日本大震災のときのような物資・食料不足を少しでも軽減してほしい。埋立地の地盤強化。災害時の交通網、通信手段の整備
228	高齢者の危険な運転によって日本人だけではなく外国人を危険にあわせないように70才以上の方にはもう一度講習を受けてもらうようにする。電波を強くして災害時も練らくを取れるようにしてほしいです。
229	自分の地域では防災に対する意識が低いので多くの地域での防災に関する呼びかけ。現在の地域はつながりがうすいと感じるので、よりせまい社会でのイベントを増やす。高速に現在特に問題はないので後回しでも。
230	災害時に集ることのできる場所の表示 スマホが主流の今の時代に自分の家のまわりや、会社付近など身近なところの集まれる場所を掲載する。標識などを立て、分かりやすくする。外国人に向けてのアプリも出してほしいです。
231	交通事故を減少させるために、警備だけでなく教育も強化し、運転免許の年齢に制限をかける等、大胆な政策をとるのもいいと思います。電波を強化して、災害時に使いやすいようにする。
232	農産物の地産地消も重要だと思います。使われてない土地を活用。新たな生産技術の導入。オランダ式ハウス→高さを使う。植物工場→赤字であり、改善をした上で。
233	集中豪雨やゲリラ豪雨などといった自然現象から安全を図る為に、下水道などの水の通り道の整備など。 (ex)水が溜まる通をわざとつくる。←水をためるようなつくりをわざとつくる大雨の時は交通止めにする。
234	地震などの災害が起きた時に最も重要な事は、 ①正確な情報→都の方で何とかできる事。→重要なのは年配の方たちに対してどうやって情報を届けていくか。 ②知識と準備→舩添さん時代に渡された東京防災に関してせっかく配ったのだから、より意識的に復習させ、一人一人が何をすれば良いかを把握させるような何らかの働きかけをしてみる事ができると思います。 ③他者とのつながり→東京はしょせん他県からの寄せ集めが多いのが実情。そのため、自分が町の一人であるという意識を持たせることが重要。祭りとかが有効なんじゃないですか。 耐震化をあせろう。
235	首都直下地震への備えを進めているが、自分の住んでいる家は木造で古く、倒壊の可能性が非常に高い。周辺にもそのような住宅が多いので、耐震化、不燃化をより進めてほしい。建て替えなどをする時に補助金が出るとさらに良いと思います。
236	①町内会など、地域の輪を大切にする。知人が増え地震の時役立つ。 →緑化にもつながる花壇作りや、清潔美化になるゴミ拾いなど。 ②公園を増やし避難所を増やす。→子どもも過ごしやすい。
237	セーフティをかかげるのなら、首都直下地震が間近に迫る今、何（築地・オリンピック）よりも先に急いで耐震化などを実施すべきだと思います。多摩は格差を感じていません。
238	そもそも地震を経験したことのない人も来日するので ⇒地震とは何か、具体的に何をすればいいかなどを「東京防災」の英語ver.etc…などをつくってあげる。
239	テロが身近なものに感じられず、いざ日本がターゲットになった時に何をどう気をつけたら良いかわかりません。
240	東京の安全さは他国に誇れるすごさです。やるならきちんとやってほしい。省略したり、するしないで。女性への痴漢やレイプ対策をしてほしい。もっと言いやすい環境がほしいです。

番号	ご意見・アイデア
241	<p>①防犯カメラがあっても、未然にふせげるのだろうか。  ②個人情報をもっと厳しく管理してほしい。  ③ニュースとかを見ていると、役所の職員の意識不足が感じられる。  ④地下にいろいろつくっているが、地下すぎると不安になる。</p>
242	<p>①自然災害に対する政策は、環境を壊さないように気を付けてほしい。  ②「スマートシティ」で世界も視野に入れていて、今よりもっとグローバル化が進むから、テロ対策などは重点的にやるべきだと思います。</p>
243	<p>学生からすると、夜の街とかよりも、通学途中の交通機関とかのほうが怖かったりするから、電車やバスにも何か起こったとき用の対応策や防犯カメラが欲しいなと思った。災害に対応している街はとても良いと思います。</p>
244	<p>徹底的な管理で安全を保證するのは良いと思うが、プライバシー（監視カメラとか）と資金の問題にもしっかりと焦点を当ててほしい。大きな災害の前例も多くあるので、そこから学んで効果的な防災ができると思います。</p>
245	<p>通学路でも電灯が少なく、帰りはとても暗くて怖いところがあるから、道ばたの電灯を増やしてほしいです。</p>
246	<p>①廃れた町などをニュータウンとして都市開発する。  ②犯罪者への罰を重くする。  ③そもそも犯罪者のいない町を目指すために、小・中・高での教育を改善する。</p>
247	<p>まずは、日本特有の地震等の災害に強いまちづくりに重点を置いてほしいです。東京オリンピックもあり、外国からの観光客はますます増加すると思いますが、地震を経験したことがない人も多いので、災害時には特に都心部で大混乱が起こると思うので、建物や地盤が壊れないのはもちろん、もしものときに人々がどのように行動すればよいかを明確にしてほしいです。</p>
248	<p>人件費をちゃんと払って防犯する人々を増やす。消防団、町会・自治会などを活性化させるって具体的に何をするのか説明してほしいです。テロ対策や身近な犯罪の防止をするなら、まず経済的に困っている人とか差別を受けて嫌な思いをしている人に対してケアしてあげればいいと思います。</p>
249	<p>電車の女性専用車を朝の通勤時間帯だけでなく、帰りの時間帯、帰宅ラッシュの混雑する時間帯にも作ってほしい（JR中央線）。多摩地方のように人数の少ない暗い道などに、もっと電灯を増やしてほしいです。</p>
250	<p>電柱のないまちを目指すことはとても良いと思いました。</p>
251	<p>①地震対策  ②電車の事故を減らす。  ③通勤ラッシュの緩和  ④地域活動を増やす。（まつりや国際交流）</p>
252	<p>東京や関東近辺で近いうちに大きな地震・災害が来るといわれているから、重点的にやってほしいです。また、最近では痴漢などの発生についてのニュースを見かけるから対策を行ってほしい。夜ひとりで出歩くのが怖くなる。すべてにおいて言えるけど、やるのであれば中途半端には絶対にしないでほしいです。（例として、“大雨が降ってもあふれない・崩れない”って堤防を作るんならすごく頑丈に）</p>
253	<p>暴力じゃなくて痴漢とかが多いからそれもどうにかする。例えば子供たちには小さいころからダメだと教えつけるなど。</p>
254	<p>東日本大震災もあって、フランスでのテロもあったり、世界の治安の悪化から日本を守るために、世界からの恐さへの対策を東京オリンピックでしてほしいです。</p>

番号	ご意見・アイデア
255	ただの保育所ではなく、安心して預けられる保育所を建ててほしいです。（ニュースなどで見る、あやしい保育所にはどうして子供を預けられない）
256	東京にも道路の下に空洞がたくさんあるとニュースで見たので検査をして、少しずつ直して行ってほしいと思います。
257	防犯カメラがたくさんあるのは犯人特定の時などには役立つけど、結局の解決にはならないのでは？警察の夜のパトロールが効果的だと思います。
258	全部良いと思うけど、防犯カメラをいっぱい設置しすぎるとふだんの生活してる人にとってはちょっとuncomfortableになると思います。明るいとことかは無くてもいいと思います。
259	「商店街や町会・自治会の活性化」とは、どのように活性化させるのか、具体的に示してほしいです。また、これからはサイバー犯罪も増えていくと思うので力を入れてほしいです。
260	避難場所などをよく知らない人がいます。私の父が学校の近くで働いているため家から遠い学校でもいざとなれば父と帰れるが、私1人だと全くわかりません。地元でなくても一発で避難場所を見つけられるようにはできないでしょうか。あとSNSなどでは回線が混乱します。それに対する対策は？
261	今求められている安全がつかまっているセーフシティの実現；ぜひ成功させてください。
262	様々な人がオリンピック・パラリンピックで東京に来るので、万が一のために犯罪防止をしてほしい、東京＝安全な街、地震も心配、建物の強化
263	テロ対策、安全なまち、犯罪が起きないまち、ロボポリス、コンピュータ・AIがまちの安全を守る。
264	近いうちに東京付近で大きな地震があると言われてるので、安心して2020年のオリンピックが東京でむかえられるようにするためにも、地震に強いまちづくりはとても重要だと思います。防犯カメラは、安全になると思うけれど、ずっとかんじられているような感じがすると思います。
265	最近では自治会に入っていない家庭や、地域の団結が特に都市部では減ってきているので、周囲と助け合うことがしたくてもできない家庭も多いと思います。そういった人達の把握も必要だと思います。だから、この案だけでは足りないと思います。もっと色々な状況の人のことを考える必要があります。外国人の災害時の対応も。
266	無電柱化はもっと進めていくべきだと思います。都よりも川越などで見かけたので、災害が起きやすい所中心に行っていくべきだと思います。「東京防災」をもっとたくさんの人に見てもらおうようにした方がいいと思います。
267	地震等の災害は防ぐことができないが、被害を軽くするなど事前に準備しておくことができるので、そういったことにも力を入れるべきだと思います。首都直下地震など東京を襲う大災害が危惧されている中で、どのようなまちづくりを行うのか、また東京都民の命をどのように守るのかをよく考えてほしいと思います。
268	災害時に食料や飲み物に困らないように家庭や企業での備蓄を進める。といってもたしかに実際、防災ノートがくばられたりと活動はみえるが、それがきちんと防災力の向上につながるのかわかりません。実際、中学などでくばられたり言われても、知っていることばかりだったり、中には理解せず書いたりとなっていない事の方が多かった。もっと、やらなくてはというような活動をすべきだと思います。 無電柱化は、鳥とかはどうなる？
269	①防犯カメラがたくさんあるのは安全面としては良いと思いますが、常に監視されていると感じる人もでてくるのではないのでしょうか？ ②自治会に参加できるよう休ませてもらえる日を作れるようにする。 ③外国人観光客・留学生に対する対策は？

番号	ご意見・アイデア
270	主要政策のどれもが既にやっていること。やって然るべきことなので取り上げて重要性を示すのはいいが、会議を重ねる間にも時は流れて、災害は来るのだから行動は迅速にするべきだと思います。
271	外国人観光客や留学生に対する、災害への対策はどのようになっているのでしょうか。
272	東京は「首都直下地震」の危険が高いため、まずはその地震とそれが及ぼす災害などから都民の身を守れるような対策をまずはじめにやっていくべきだと思います。
273	外国人観光客が増える中で、「安全な都市」のイメージがその増加にもつながると感じました。災害に関しては、特に高齢者の多い地域に自警団を増やすなどいいと思いました。
274	安心、安全な東京というものが、他の全ての政策にもつながってくると思うので、第一にやってほしいなと思いました。その中でも、町の元気創出によって、町会・自治会などが活性化していくと、自助・共助も広がっていくと思います。
275	地震について、家に関するだけでなく、もしものことがあったとき、家に帰れない人がたくさん出るから交通も何とかできる…と思います。 それから、渋谷ってあぶなさそうだけど、見回りの人がいるからこわくない、みたいに、新宿とかそういう繁華街の安全、逆に暗く人通りのない道を明るくしたりする、防犯カメラは何が起きてからは役立つかもしれないけど…？
276	1番はホームドアの増設。毎日に危険だと感じています。団地などの集合住宅の設備を新しくしてほしい。住んでいるのは大方、高齢者なのに団地のほとんどにエレベーターがありません。
277	“コミュニティの活性化”という言葉ができていますが、これが少し不安に感じました。私のマンションでは町内会のおあつまりがありますが、私の両親は忙しい中時間をつくって参加して、とても大変そうです。人付き合いも難しいようです。もしこれからもっとそういうことが強制されていくのなら、苦しくなる人もいるのではないかと思います。
278	東日本大震災の際には交通機関が完全にマヒしていました。日々の小さな地震などでも簡単に鉄道がストップしてしまうこともあるので、地震に限らず、雪、豪雨などの災害に強い交通網を整備していただきたいと思います。
279	まず都民が安心して暮らせることは一番考えるべきです。また、地震とは縁の無い外国人の方が、不安を持たず、来てもらえるためにも地震対策は重要。※帰宅困難になり得る通勤・通学者のための対策をより進めてもらいたいです。
280	リスクマネジメント→災害・事件・事故を極力なくす、安心・安全なまちづくりを目指してほしいです。地域のつながりを見直す、外国人が入ってくる中でどうやって？←治安
281	木造住宅密集地域の不燃化はいいと思います。具体的にどうするかが想像できないので知りたい。シャッター街への対策を知りたい。まだ一応運営されている商店街ならまだしも止まってしまっているところはどうするべきか。
282	3シティの中で一番先に着手しなければならない問題であると思います。日本の中心的機能を果たす東京が災害に弱いという欠点があるとは思いません。 また、サイバー攻撃による被害は年々深刻化しているので、対策をしてほしいです（情報を安心して預けられる行政機関にしてほしい）。
283	地震対策について。東京は大地震が起こると言われているし、高い建物が多いので、被害が大きくなり強い街にしてほしいです。
284	無電柱化は良いと思う。でも実現は出来るかどうかの面で見ると難しいのでは？と思ってしまった。
285	地震対策

番号	ご意見・アイデア
286	建造物の耐震化だけでなく、各自治体を中心としてソフト面の対策も進めていくというのは、コストに対する効果が大きい政策だと思います。
287	災害に強いというのはとても良いと思いますが、犯罪への対策が少ないようにも感じました。もう少し事故や事件への対策もあるともっといいなと思います。
288	地震対策をもっと積極的にやってほしいです。
289	無電柱化による災害時の利点と、景観の両方とも対応できるのがよい。災害時にスムーズに避難などが出来るようになっていける→安心できる。
290	<ul style="list-style-type: none"> <li>①無電柱化を進め地震時にたおれないようにする。</li> <li>②地下シェルターを広める。すぐできない。</li> <li>③建物の高さを統一する。</li> <li>④自然を増やす。</li> <li>⑤南武線を発展させる。</li> <li>⑥横田基地を民間へ開放</li> <li>⑦小笠原諸島の飛行場を整備</li> </ul>
291	<ul style="list-style-type: none"> <li>①安全にするためにたくさんのセキュリティがある。例：会社が関わったら協力・支援する。</li> <li>②安全について理解する。</li> </ul>
292	日本は地震が多い国、また首都直下地震も予想されている。→耐震・不燃化を強化することで、災害が万が一起きても多くの人の命が助かるのももちろん、国の心臓部が止まる事もないです。
293	ご近所に高齢者の方がいたら災害があった時にたすけあえるように声をかけあうことができるように。東京を守る。
294	「2020年に向けた実行プラン」として現実味がない。“やらなければいけないこと”の量に対して、それらを2020年までに実現させる技術、お金、時間があきらかに足りません。 災害、地域交流、人を決める、自治、地震対策、1200万人、良い
295	大型防災訓練を都心（23区）だけでなく多摩地域で行うべき。また可能であれば都全体で行なうべき→その地域に適した訓練をするべきです。 東京に企業が集まりすぎ→危ない。東京が止まると世界に影響及ぼしかねない。安全対策を全て2020までにやるのではなく必要・・・。
296	個人だけで防災をするのではなく、地域で防災を心がける。首都のみでなく多摩まで。
297	防犯カメラやボランティアの活性化も大事だけど、街灯とかの設置を進めてほしいです。明るければ犯罪に手を染める人も減ると思うから。
298	多摩などに新しいニュータウンを作るよりも、緑を増やした方がいい、空き家を有効活用するには賛成です。
299	地震があった時でも連絡をとれるようにしてほしいです。
300	無電柱化の為に工事費はいくらかかり、足りるのか不安。仮に工事にかかっても途中断念はやめてほしい。災害時の飲み物は自販機でも買えるようには出来ないのか。避難所の確保ができない人や、出来た場合、不安なく過ごす為のバリアフリーを増やせばいいと思います。

番号	ご意見・アイデア
301	無電柱化は2020年までに実現できなさそう。地域間のつながりを増やさなければ無理。家から出てこない人をなくす→ポケモンGOみたいなリアルタイムでの情報→出来そう。やるべき。
302	①学校では避難訓練が行われていますが、地域での訓練を推進していただきたいです。 ②防災の方法は、他の何よりも優先して公共の建物の耐震工事や河川の氾らん対策など、必要な大規模な工事を行っていただきたいです。 ③防災のために「自治会などの活性化」と書かれていますが、そうした団体の活性化には都民一人一人の協力が欠かせないと思います。地域単位で活動している団体の広報を推進していただけないでしょうか？
303	町会・自治会が動いていない場所もあると聞いたことがありますが、どのように共助の面で防災力の向上を図るのでしょうか。 「テロ対策」オリンピックのある2020年には、今までよりも沢山の外国人旅行客が訪れると思います。ISSなどの不安もまだぬぐえませんが、どう対応するのでしょうか。 「空き家の有効活用」「地域コミュニティの活性化」⇒イメージがあまりわかりません。
304	地震対策の強化、防災力の向上に関しては、一刻も早く推進して頂きたいです。 ただ、多摩、島しょ部の道路整備に関して、これらの地域には数少ない自然が残っていたり、先祖代々から継いできた土地があるなどという方もいらっしゃるため、用地確保がどのように行われるのかについて、説明が必要だと思います。
305	【自助・共助・公助の連携による防災力の向上】 アパート・マンション等が増え、連携がとりきれしていない。高齢者だけでなく若い人にも呼びかけていくべきだと思います。 【地震に強いまちづくり】 道路を広くする際、道路を広げるのに必要な分の土地等のお金をもらっても、立ち退いた後住む家を建てるのに十分でないために移住できない家も多いです。
306	サイバー攻撃対策が進められることはいいことですが、それによって、例えば学校のような公共施設での制限が増えてしまうことも考慮していただきたい。 防災よりも減災に力を入れるべきではないでしょうか。首都直下地震のとき、都庁なども被害をうけると思いますが、指示が滞ることはないのでしょうか。
307	あと4年で、全てを耐震化したり、不燃化を進めたりするのは、財源的にも時間的にも間に合いませんし、災害というのはいつ起こるか分かりません。だから、実際に起こった時に都市がパニックにならないように、迅速な対応ができるような体制を整えてほしいです。 具体的に言うと、一時避難所などのマークを一目で分かるように建物に大きくとりつけるとか、交通機関がすぐに復旧できるように設備を整えたり、徒歩で帰宅する人のための詳細な地図や災害についての情報を知ることができるスポットの整備などを進めてほしいです。
308	【まちの安全・安心】 一人暮らしや核家族が増える一方、近所の付き合い等が減り、犯罪が行いやすい都市となってしまっているの、それを改善した方が良いでしょう。
309	①前都知事の時代に策定された「防災計画」を継承していくのかどうかということをはっきりさせていただきたい。 ②特に多摩地区は、自治会が発達している場所もあるので積極的に活用していただきたい。 ③防災に関して決まったことを住民に知らせる活動を強化してほしい。
310	災害に関しては、今後必ず問題となり、解決されていくと思います。なので、ぜひ、まちにもっと目を向けて、力を注いでいただければと思います。例えば、防犯カメラは起こった犯罪の解決には大きな力となるでしょうが、それが真っ暗な所にあったのでは、直接犯罪を減らすには力が足りないと思っています。 しかし、近所の都立公園は夜、本当に暗くなってしまいます。ぜひ、そういったところから改善をお願いします。
311	災害が起こってしまった後の対処、地震対策なども大切ですが、起こってしまった時の対応を知識として、もっとみんなが知るべき。そのためのイベントなどがあればいいと思います。
312	都内でも、多摩で、まだ土砂災害の危険があるところがあるので、都心以外でも大雨や地震対策が同じくらい出来てくるといいと思いました。また、今自分が住んでいるところのような電柱が地上にない場所が増えてほしいです。

番号	ご意見・アイデア
313	<p>災害、特に地震は事前に予測することは難しいものの、とても大きな災害であり、被害の大きいものなので（二次災害も起こりやすいため）、地震に強いまちづくりは強化してほしいです。</p> <p>防犯については、東京は人口も多く、外国から訪れる方も多く、いつどんな犯罪が起きるかわからないので、対策を強化していくことが安全につながると思います。</p>
314	<p>フランスやベルギーでのテロが多い中、日本でテロが少ない安全な社会を作るとは、とてもいいことだと思います。</p>
315	<p>電柱は無くすべきではないと思います。なぜなら日本の道路は狭いため、電柱を無くすことを東京各地で行うと渋滞、事故が起きる可能性があるからです。私も水道管の工事をしている道路を通ったとき車とぶつかりそうになったことがあります。</p>